



対話で育む創造力とは

社会の入り口を形成する駅ビルとは



なぜVIVAに
多様な若者が集うのか

VIVAフォーラム

正解がない時代の生きる力を育む学びとは ——若者の居場所としての駅ビル

過去の事例を模倣しても必ずしも成功しない、変化の激しい現代において、生きる力とは何かを改めて問われています。本フォーラムでは、生きる力を育む学びと若者の居場所づくりについて、VIVAの実践を通じて考察します。

年間36万人の利用者のうち、約3割を高校生が占めるVIVAでは、様々な過ごし方ができるような場づくりをおこない、若者を中心に多様な世代がともに空間を共有しています。また、VIVAのプレーヤーであるアート・コミュニケータ「トリばア」は学校へ出向き、対話を中心とした学びを実践しています。次年度は高校生が多様な世代と交流しながら学ぶプログラムも実施予定です。

地域のつながりの希薄化などによって、若者の居場所は減少しているといわれ、自己実現の機会が減ったり、自己肯定感の低下などが社会課題となっています。生きる力を身につけ、未来を切り開く力を育むために必要な環境や取り組みとはなにか、多くの若者が利用するVIVAの可能性を議論していきます。

たいけん美じゅつ場をたいけんする

13:00-14:15 たいけん美じゅつ場で普段おこなっているコミュニケーション・プログラムをたいけんできます

フォーラム

14:30-16:10 第一部 | トークセッション
ケア・学び・コミュニティの実践から **1部**

16:20-17:10 第二部 | ディスカッション
正解がない時代の生きる力を育む学びとは——若者の居場所としての駅ビル **2部**

17:20-18:00 問いをシェアする「はてなカフェ」
カフェタイムはトリばアがいるお茶で一息。一人でモヤモヤ考えてもよし、トリばアと気づきを共有してもよし、「正解」のない問いだからこそ生まれる「はてな」を味わう時間をお楽しみください。

1部 2部
日比野克彦
東京藝術大学長



1部 2部
高橋弘行
株式会社アトレ
代表取締役社長



1部 2部
五十殿彩子
たいけん美じゅつ場
共同ディレクター



1部
高木諒一
東京藝術大学
特任研究員



1部
アート・コミュニケータ
トリばア
川村和生 アトレ取手営業課課長



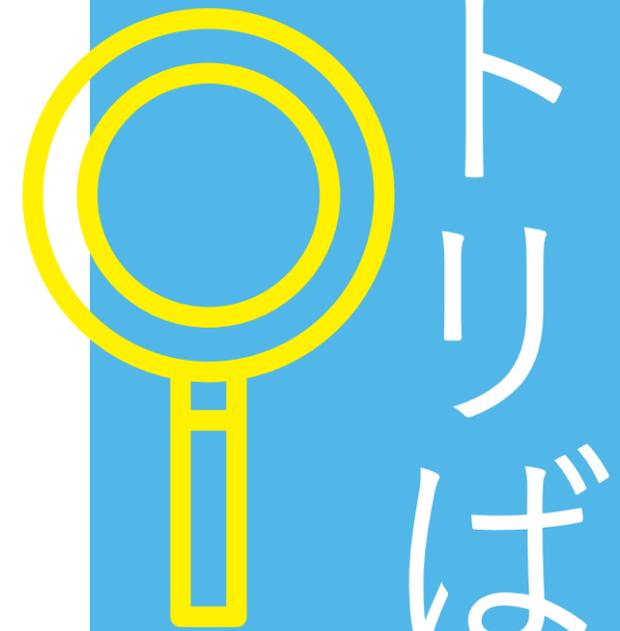
※プログラムの様子は広報・記録用として撮影させていただきます。ウェブサイト等の広報媒体に使用することがありますので、ご了承ください。

【参加申込方法】 申し込みフォームからお申し込みください。
(参加無料、事前申し込み制(先着順))

お申し込みはこちらから



2025年3月2日(日)
たいけん美じゅつ場パーク+YouTube配信
現地参加(定員:50名)またはオンライン



トリばア 募集!

たいけん美じゅつ場VIVA アート・コミュニケータ

応募受付締切
2025年
3月19日[水]
消印有効
定員 20名

【主催】取手市、東京藝術大学、JR東日本、株式会社アトレ
【共催】共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点
【運営】NPO法人取手アートプロジェクトオフィス



「トリばア」とはたいけん美じゅつ場を拠点に活動するアート・コミュニケーターの名称です。アート・コミュニケーターはアートと人、人と人をつなぐコミュニケーションを育み、地域や社会の中に新しい価値観や文化を生み出す活動に取り組んでいます。トリばア同士の対話の中で学びと体験を繰り返しながら、場づくりの実践をVIVAで展開しています。



取手駅直通の駅ビル「アトレ取手」4階にあり、東京藝術大学卒業制作作品を展示する公開型作品収蔵庫や工作室、ギャラリー、それぞれの目的で過ごすことができるパークなどがあり、様々な体験ができる文化交流施設です。一人一人の体験が発見や学びにあふれた場をトリばアと共につくり、多様な価値や文化が育まれる豊かな社会へとつながっていくことを目指しています。

トリばアの活動

アート・コミュニケーター「トリばア」は基礎講座、実践講座からスタートし、自分たちのオリジナルの活動である「VIVAラボ」を通じて居場所のデザインをおこなっています。

基礎講座 5月～8月・全8回

活動を進める方法や対話の場づくり、アートを介したコミュニケーションとはどのようなものを学びます。新しいコミュニティづくりにつながる基礎的な物事のことをディスカッションやワークショップなどの参加形式で深めていきます。



実践講座 8月～

取手市内のさまざまな文化芸術資源を題材に、活動のフィールドやモノやコトをよくみるための方法、コミュニケーションの技術などについて、実践的な場面を想定した学びを深めていきます。実践を通して気付いたことや疑問なども振り返り、話し合いを重ねて進めていきます。

鑑賞実践講座

対話しながら作品をみることで鑑賞を深め、人と人、人と作品をつなぐ場づくりを体験し、学ぶ講座です。

アーカイブ実践講座

作家の作品への想いをそれぞれの見方や体験を共有しながら色々な人たちに届けていくことで、作品の価値を育んでいく講座です。

アクセス実践講座

VIVAや取手市内にある作品や文化資源を活かし、多様な人々が芸術や文化につながることでできる新たな回路をつくる活動とその意義について考えます。

VIVAラボ

「この指とまれ式」でトリばアが集まり、はじめのアイデアを「そこにいる人がすべて式」で対話を重ねながら深めていく場。様々な背景を持ったトリばアが集まり、アイデアとアイデアが重なることで、さまざまなプログラムや活動が生まれていきます。

展示と連動し、作品に近づく体験を生み出したラボ VIVAにあるとりでアートギャラリーで開催された書展に合わせ、体験型のラボを実施しました。作品を鑑賞し、実際に墨で表現することで、書との距離を縮め、参加者同士の交流も深まりました。



VIVAならではの過ごし方を広げてみる 商業施設の中にあるVIVAには、他にも多くのショップが入っています。「アトレ×トリばア×子どもたち」をハロウィンとコミュニケーションでつないだらボです。



作品を介して対話する鑑賞者と作家——商業施設でアートをともに育む VIVAではトリばアが中心となり、来場者が作品を通じて、アーティストや人とつながることができる場を生み出しています。東京藝大の卒業・修了作品を、トリばア同士で何度も鑑賞し、その体験を言葉にして作家にも届けました。

こちらからその記事をご覧くださいませ→



高校生アート・コミュニケーター

nex トリばア

も募集中!

詳細はこちらから▶▶▶



アート・コミュニケーター募集については、別紙またはたいけん美じゅつ場ウェブサイトをご覧ください。

【お問い合わせ】

〒302-0014茨城県取手市中央2-5

アトレ取手4階たいけん美じゅつ場

TEL:0297-85-5558

(水曜・第一日曜定休、10時-19時オープン)

MAIL: viva-info@toride-ap.gr.jp

https://viva-toride.com

たいけん美じゅつ場ウェブサイトはこちらから



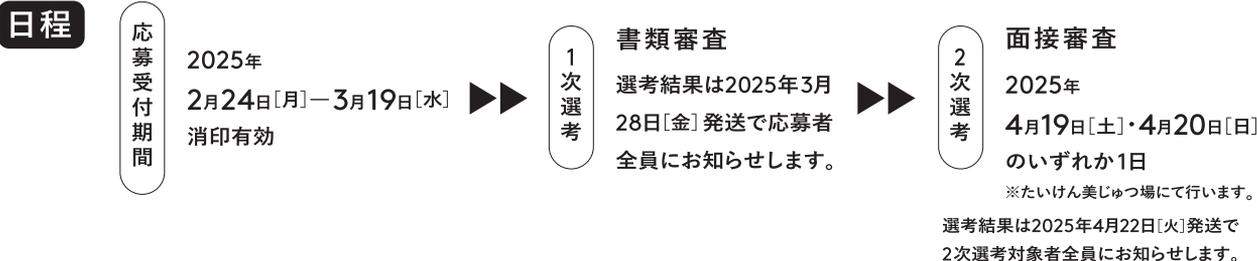
たいけん美じゅつ場



ART 共創拠点

【こちらは、JST 共創の場形成支援プログラム「共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点」(JPMJPF2105)の支援を受けたものです】

たいけん美じゅつ場 VIVA アート・コミュニケーター6期募集要項



応募受付期間 2025年2月24日[月]ー3月19日[水]

- 応募条件**
- ・18歳以上(※高校生向けの募集も実施しています。チラシ中面をご参照ください。)
 - ・アートやコミュニケーションに関心がある方
 - ・たいけん美じゅつ場の趣旨に共感し、主体的に活動できる方
 - ・基礎講座全8回に原則としてすべて参加可能な方
[基礎講座日程] 2025年5月11日、25日、6月1日、15日、29日、7月13日、20日、8月3日(すべて日曜日、10時半～16時予定)
 - ・2025年8月以降、月2回以上の活動に参加可能な方
 - ・Eメールの送受信、zoomでのオンライン参加が可能な方

活動のやくそく

交通費、謝金などの支給はありません。随時開催される講座やゼミ、一部施設を無料で利用いただけます。アート・コミュニケーターの登録期間は1年間です。次年度以降は双方合意のうえ、年度毎に登録更新し、最長3年間とします。

応募方法 以下の1～3の書類を入れた封筒に「アート・コミュニケーター応募書類在中」と朱記し、郵送してください。

1 [応募用紙]

応募用紙はたいけん美じゅつ場のウェブサイトからダウンロードし、必要事項を記入してください。

*18歳未満の応募者の方は保護者の同意が必要です。同意書に必要事項を記入の上、押印してください。

2 [課題]

A4用紙1枚(記載様式自由)に、「アート・コミュニケーターに応募する動機と、その背景になっているあなたにとって重要な体験」について述べてください。A4用紙1枚にまとめ、必ず氏名を記入してください。

記載様式は自由ですがA4規格外の用紙使用や裏面への記載は選考対象とはなりませんのでご注意ください。

3 返信用封筒1通: 定型封筒(長形3号)に110円切手を貼付の上、宛先欄に応募者の郵便番号、住所、氏名を明記してください。

応募書類郵送先

〒302-0014 茨城県取手市中央町2-5 アトレ取手4階たいけん美じゅつ場
たいけん美じゅつ場 アート・コミュニケーター募集担当宛

※一度、提出いただいた応募用紙等の書類は返却いたしません。

※応募者の個人情報は、アート・コミュニケーターの選考に関すること以外には一切使用しません。



お問い合わせ

TEL: 0297-85-5558 (水曜・第一日曜定休、10時-19時オープン) MAIL: viva-info@toride-ap.gr.jp <https://viva-toride.com>

たいけん美じゅつ場 VIVA
高校生アート・コミュニケータ「nexトリバア」1期募集要項

日程

応募受付期間

2025年
2月24日〔月〕
～3月19日〔水〕
消印有効

1次選考

書類審査
選考結果は
2025年3月28日〔金〕発送で
応募者全員にお知らせします。

2次選考

面接審査
2025年
4月19日〔土〕・20日〔日〕の
いずれか1日
選考結果は2025年4月22日〔火〕発送で
2次面接選考対象者にお知らせします。
*所要時間は30分ほどです。日時は後日連絡します。
*面接はたいけん美じゅつ場で行います。

応募条件

- ・2025年3月に中学校を卒業予定の中学生から18歳の方（保護者の同意が必要です）
 - ・アートやコミュニケーションに関心がある方
 - ・基礎講座（5～8月・全8回*）に参加できる方
 - ・たいけん美じゅつ場の趣旨に共感し、主体的に活動できる方
 - ・2025年8月以降、月2回以上の活動に参加できる方
 - ・Eメールの送受信、zoomでのオンライン参加が可能な方
- *基礎講座日程：5月11日、25日、6月1日、15日、29日、7月13日、20日、8月3日（すべて日曜日、10時半～16時予定）

活動のやくそく

交通費、謝金などの支給はありませんが、随時開催される講座やゼミ、一部施設を無料で利用できます。
「nexトリバア」の任期は1年間です。
延長希望の方は、双方合意のうえ、年度毎に登録更新し、最長3年間とします。
受験期などの忙しい年度は、お休み期間として、更新を延期しても構いません。

応募方法

以下の1～3の書類を入れた封筒に「nexトリバア応募書類在中」と朱記し、郵送してください。

□1 応募用紙

応募用紙はたいけん美じゅつ場のウェブサイトからダウンロードし、必要事項を記入してください。
*保護者の同意が必要です。
応募用紙に必要事項を記入の上、押印してください。

□2 課題

A4用紙1枚（記載様式自由）に、「アート・コミュニケータに応募する動機と、その背景になっているあなたにとって重要な体験」について述べてください。
A4用紙1枚にまとめ、必ず氏名を記入してください。記載様式は自由ですがA4規格外の用紙使用や裏面への記載は選考対象とはなりませんのでご注意ください。

□3 返信用封筒1通

定型封筒（長形3号）に110円切手を貼付の上、宛先欄に応募者の郵便番号、住所、氏名を明記してください。

応募受付期間：2025年2月24日〔月〕～3月19日〔水〕消印有効

応募書類郵送先

〒302-0014 茨城県取手市中央町2-5 アトレ取手4階
たいけん美じゅつ場 アート・コミュニケータ募集担当宛

*一度、提出いただいた応募用紙等の書類は返却いたしません。
*応募者の個人情報は、アート・コミュニケータの選考に関する以外には一切使用しません。

お問い合わせ

TEL：0297-85-5558（毎月第1日曜日、毎週水曜日定休、10時～19時オープン）
MAIL：viva-info@toride-ap.gr.jp HP：https://www.viva-toride.com



たいけん美じゅつ場 VIVA
高校生アート・コミュニケータ

募集人数
10名

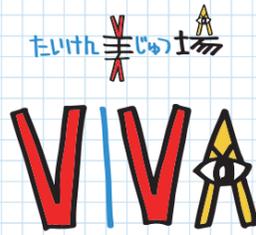
「nexトリバア」募集



希望する人には
ボランティア
証明書
が発行されるよ！

主催：取手市、東京藝術大学、JR東日本、株式会社アトレ
共催：共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点
運営：NPO法人取手アートプロジェクトオフィス

募集締切
2025/3/19まで



たいけん美じゅつ場 VIVAってどんな場所？

VIVAは、取手駅直結の「アトレ取手」4階にある、文化交流施設です。東京藝大卒業作品を展示する公開型作品収蔵庫や工作室、ギャラリーだけでなく自由に過ごせるパークも楽しめます。ここでは、アートを通じて新しい発見や学びが生まれ、多様な価値観や文化が育まれています。



学ぶ、
やってみる！

アートを通じた「対話」や「つながり」について、トリバァと一緒に学びます。対話やワークショップを通じて、新しい発見を見つけよう！

まずは！ 基礎講座 | 5～8月・全8回



アート・コミュニケータの活動を進める方法や対話の場づくり、アートを通じたつながりについて学びます。新しいコミュニティづくりにつながる基礎的な考え方を参加型の講座で深めていきます。



高校生アート・コミュニケータ
「nexトリバァ」とは？

「nexトリバァ」とは、VIVAを拠点に15歳から18歳または高校生が集まり、アートを通じて、アートと人、人と人をつなぐミッションに取り組む人たちのこと。幅広い世代と背景を持った大人のトリバァたちと一緒に、学びながら「場づくり」を実践することで、新しい価値や文化を生み出すことにチャレンジしていきます。

さらに！ 実践講座 | 8月～

取手市の文化やアート、資源をテーマに学びを深め、実践形式で講座を行います。気づきや学びを振り返りながら進めていきます。



Real-Voice

いま、高校生トリバァとして活動する
佐々木さんにインタビュー

大人に出会ったり、いろんな人と交流できる機会があまりないので、トリバァに応募してみました。私は、絵を描くよりも話す方が好きで、対話型鑑賞に興味がありました。実際に活動すると、絵が上手じゃなくても楽しめるしVIVAにはいろんな人がいて、大学の進路が既に決まっている自分にとって幅が広がったと思っています。今後はもっと、高校生同士で話したり交流できる機会があったらいいなと思っています！

鑑賞実践講座

対話をしながら作品を見ることで鑑賞を深め、人と人、人とアートをつなぐ場づくりを体験し、学ぶ講座です。

アーカイブ実践講座

作家の作品への想いを、それぞれの見方や体験を共有しながら、アート好きな人からアートをどう見たらいいかわからない人まで届けていくことで、作品の価値を育てていく講座です。

アクセス実践講座

VIVAや取手市内にある作品や文化を活かし、様々な人が芸術や文化につながることでできる新たな回路をつくる活動とその意味について考えます。

東京藝大取手校地へ行って
共通工房や研究室を見学！



ヤギ×アート？半農半芸？
取手校地で起こっている
プロジェクトを見に行ってみよう！



VIVAラボ！チームを組んで対話を通じた場づくりに挑戦！



VIVAラボは、トリバァ同士のゆるやかなコミュニケーションの場でもあるよ。ゴールだけでなく、プロセスをみんなで楽しんでみる！

取手校地に新しくできた
作品収蔵庫「魅せる収蔵庫」も
活動のフィールドに！



VIVAの工作室にはDIYができる工具からシルクスクリーン、ミシンや3Dプリンターまで、いろんなものが整っているよ

取手市の小・中学校と連携して
取り組むプログラムもトリバァさんが大活躍！



Information

トリバァから活動について話を聞くことができるよ！

トリバァの活動たいけん会 & VIVA フォーラム

トークテーマ

正解がない時代の生きる力を育む学びとは -若者の居場所としての駅ビル-

日時 2025年3月2日 [日] 14:30-18:00 (トリバァたいけん会 13:00-14:15)

会場 たいけん美じゅつ場 VIVA

ゲスト 日比野克彦 (東京藝術大学長) / 中村修 (取手市長) / 高橋弘行 (株式会社アトレ代表取締役社長) / 伊藤達矢 (東京藝術大学社会連携センター教授) / 五十殿彩子 (たいけん美じゅつ場ディレクター) / 大内伸輔 (東京藝術大学特任准教授)

YouTube
配信あり

